

水・環境の話

第1号



全国下水道料金高いランキング

(20m³を使用した場合の1m³の金額)

順位	市町村名	料金
1	長野県松本市 (上高地)	480円
2	北海道三笠市	279円
3	北海道夕張市	255円

政令指定都市の下水道料金安いランキング

(20m³を使用した場合の1m³の金額)

順位	市町村名	料金
1	大阪市	58円
2	札幌市	64円
3	神戸市	73円
4	名古屋市	82円
5	仙台市	87円

政令指定都市の下水道料金高いランキング

(10,000m³を使用した場合の1m³の金額)

順位	市町村名	料金
1	福岡市	458円
2	横浜市	454円
3	川崎市	452円
4	岡山市	416円
5	仙台市	399円

全国の市町村による下水道料金の違い

普段は当たり前を支払っている下水道料金ですが、実は地域によってかなり差があります。その地域の地形や市町村の考え方によって違いが出てくるようです。

全国の市町村でみると、長野県松本市の上高地が最も高くなっています。山中で標高が高く冬季は閉鎖という特殊な環境のため、維持管理費が高いことが要因となっています。

また、自治体の財政状況により、下水道料金を値上げしている場合もあります。本来は下水道事業は独立採算制ですが、実際は一般会計補助金や企業債に頼るところも多く、財政力が乏しい自治体は料金が高くなる傾向にあります。

政令指定都市の下水道料金比較

水道料金が安い上位都市は、全国のワースト上位の市町村と比較すると、五分の一近くの価格となっております。上位の都市の理由としては、早くから上下水道の整備をしていたため、設備投資による債務の残高が少ないことや、人口が密集しており地形的にも設備設置が比較的容易であることが考えられます。

次に、料金が高い都市を比較すると高い順に「新潟市」、「岡山市」、「浜松市」となっています。新潟市は海拔ゼロメートル地域が面積の3割をしめており、かつ平地が多く人口密度も低いため多くのマンホールポンプが必要となり、施設整備に費用がかかっています。同様に岡山市も、軟弱地盤かつ政令指定都市の中では人口密度が低いために下水管路が長くなり多くの設備が必要です。

また、浜松市は20m³では3番目に高い料金としましたが、使用水量10,000m³で比較すると政令都市の中では最も安価で、工場誘致には有利です。静岡市も同様に大口利用者は他市と比較して安価な料金となっています。

まとめ

下水道事業は原則、市町村が運営し経費を料金収入で賄う「独立採算」が基本ですが、人口減少や節水によって水の使用量が減る一方、高度成長期に急速に整備された下水道管が更新時期を迎えて、その費用もかさみ、経営環境は厳しくなっています。また、施設や下水道管の耐震化が遅れているため、全国的に頻発している地震などの災害に備え、計画的に耐震化を進めていく必要があります。そのため国は自治体などが運営する下水道事業者へ、3～5年ごとに下水道料金の検証と見直しを求める方針を定めて公衆衛生の向上を続けて行く財源確保のための料金見直しのルール化で値上げの動きが広がっています。

このような動向や下水を公共下水道に接続することが義務付けられている中、当社では下水道法第10条第1項ただし書きの規定より、許可を受けて下水を公共水域に排水し、下水道料金を軽減するための水処理技術を駆使した排水処理施設の計画・設計・行政協議・設置・維持管理を運営しています。お困りのことがございましたら是非ご相談ください。